

## 連載「響く声」

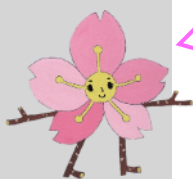
### 外国語活動 小学校全校訪問より

## 『伝えたい』思いを大切にしたい言語活動への支援

- No.2の内容-
- ◆連載「響く声」  
外国語活動  
小学校全校訪問より
- ◆特集「初任者研修」  
スタート研修より
- ◆特集「学調からの授業改善」  
算数・数学
- ◆研究主任との懇談の様子から
- ◆舎窓から
- ◆生涯学習課より

関係の学級担任や教科担任、指導教員の先生方にお渡しください。また、日報の裏に印刷してご活用ください。

外国語教育でも、児童の興味関心や既知の知識の把握が大事ですね！



友達に自分のTシャツを作ってもらおうという設定で、自分の好きな色や形を伝える活動で、こんな場面に出会いました。



「刀」の形が好きなんだけど、英語でなんて言うのかな？

先生方なら、このような質問にどのように応じますか？この児童が戦国時代に興味があることを知っている担任の先生は、全体の場で次のように助言しました。



「刀」は sword でいいんじゃないかな。

sword は「剣」じゃないの？

「刀」は日本の剣ってことだよね。



Japan sword かな？

なるほどね！



いいね。Japanese sword でどうかな。

この児童は、「sword」が西洋の剣であるという知識があり、その知識と担任の先生が助言した「刀→日本の剣」という考え方を結びつけ、「Japanese sword」という表現を理解し、コミュニケーションに活用することができました。また、「言いたいけど言えない表現」を全体で共有することで、全員がその語句を理解することができるので、安心して対話を行うことができました。授業の終末、友達が作ってくれたTシャツを見て、とてもうれしそうでした。



「伝えたい思い」を大切にしたい言語活動につながった支援のポイントは…  
○魅力ある教材を利用し、児童が考えや気持ちを伝えたい活動になっていた  
○児童理解をもとにした担任の先生の提案や問い返しなどの支援があった  
○伝えたいことを全体で確認したことで、表現をみんなが理解してコミュニケーションを行うことができた

特集

「初任者研修」  
スタート研修  
より

一年後の自分をイメージして  
～初任研スタート研修～

4月16日（火）に総合教育センターで初任研スタート研修が行われ、東信教育事務所管内の初任の先生方65名が参加しました。

子どもの立場に立てる教師に ～原山教育長の講話から～

全体研修では、全県の初任者が一堂に会し、原山隆一教育長より「長野県の教員として期待すること」と題しての講話がありました。これからの教師像についての話をお聞きし、初任者は

社会で通用する本質的な力を育んでいくためには、一方通行ではなく、子どもたち一人一人にあった指導支援をしていく必要を感じました。そのために、学び続ける教師でありたいと思います。



漠然としてきれいごとばかりで私の目指す姿がまとまっていませんでした。この一年間様々なものを学んで核となるものを見つけ、目指す姿を形づくっていききたい。

などの感想をもち、これから目指す教師像を再確認し、同じ気持ちで教師一年目をスタートしていくことを確認しました。

悩みを抱えながらともに頑張っていこう ～グループ討議から～

お互いがもつ理想像を話せたことで、自分の授業作りや学級経営への楽しみが広がりました。

私のクラスのすごさも発見しました。明日教室に戻ったら毎日給食を完食できる「みんなはすごいんだよ！」と伝えてあげたいです。

「自分だけじゃないんだ！」今まで気を張りすぎていたかもしれない。明日からはもっと楽しんで“先生”をやっていききたい。



※写真は加工してあります

不安や悩みを共有して「私はこうしたい」「私はこうしようと思う」と子どもたちのために考える姿から、私も目の前の子どもたちを大切にしていきたいと感じた。

グループ討議では、お互いに悩みや不安を抱えながら頑張っていることなどを話しながら、新たな意欲や目標をもって頑張っていこうとすることができました。

真剣に学ぶ先生方の姿勢がすばらしかったです！これからも、初任研でたくさんのことを学んでいきたいね。



東信地区の二年目の先生方から送られた温かいメッセージを読んで、勇気付けられるとともに、一年後の自分をイメージできましたね！



特集

「学調からの  
授業改善」  
算数・数学

学習指導要領の  
目標や内容を確認して、本時つ  
ける力を明確に  
するとよいです  
ね。



平成31年度全国学力・学習状況調査 算数4(1)より

**本時つける力を意識した授業改善をしましょう。**

H31年度 算数4(1)を見てみましょう。

はるとさんたちは、遊園地に遊びに来て  
います。

(1) 乗り物券を買うために列に並びまし  
た。はるとさんは、だいたい何分後に乗り  
物券を買う順番がくるのかを知りたいと  
思いました。はるとさんは、前から数えて  
20番目でした。列に並んでいる人は、同  
じ進みぐあいで進んでいます。



はると

だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るためには、何を調べればよいで  
すか。(以下省略) 〈正答〉エ 5分間で何人買ったか。

【趣旨】 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができるか  
どうかをみる。

👉なぜこのように問うのでしょうか

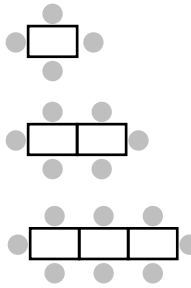
小学校4年生「変わり方」の資質・能力を新学習指導要領で確認すると…  
〈思考力, 判断力, 表現力等〉

「**伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式  
を用いて変化や対応の特徴を考察すること**」とあるからです。

👉この資質・能力の育成を目指すとは…

教科書の「変わり方を使って」の問題では、次のような発問(例)をするこ  
とも考えられそうです。

右の図のように、  
1列にテーブルを  
ならべて、そのま  
わりに人がすわり  
ます。



① テーブルの数を1、2、3、……  
とふやしていくと、すわれる人  
の数はどのように変わってい  
きますか。

(啓林館『わくわく算数4下』p.84)

提示後

(例)



すわれる人の数を  
知りたいです。  
すわれる人の数  
は、何によって変  
わりますか。

テーブルの  
数です。



テーブルの数と  
すわれる人の数  
がどのように変  
わっていくか調  
べたらいいよ。



先生が発問を工夫することで、教科書の①のような内容を、B児のよう  
に子供がことばにすることができ、「伴って変わる二つの数量を見いだ  
して、それらの関係に着目すること」の育成につながります。

授業のねらい(つける力)を意識した授業改善をしていきましょう。

「研究主任との  
懇談の様子から」

研究をリードする先生の思いが伝わってきますね。



懇談や授業参観支援等を含めたゾーン訪問は、年間を通して受け付けています。



今年度の見通しにつながる語り合いに

研究主任とゾーン担当指導主事との懇談を希望された学校で、今年度の研究推進にかかわって情報交換が行われています。

授業改善に向けて、全職員一丸となって取り組んでいきたいと考えていますが、その取組にかかわった実践の情報はありますか？

教科関係なしの小グループをつくって、授業を見合う取組があります。ポイントは、共通の視点をもつことです。



本校の課題は、「見とどけ」です。全教科で、そこに視点を当ててみたいと思います。

いいですね。あと、それぞれのグループでの成果を、短時間でできる「信州型UDカード研修」を行うことで、全職員で確認することもできますよ。

この前の研究主任研修会で体験した研修ですね。「見とどけ」のUDカードで意見交換をしてみます。

他にも、研究主任1年目で悩んでいるといった相談に、昨年度までの取組を確認しながら一緒に考え、研究推進の方向を見いだすなどの様々な懇談が行われています。

※写真は加工してあります

連載

「舎窓から」

「私、羽生です」

昨年度、指導主事として多くの学校を訪問させていただきました。学校訪問の楽しみは、子どもたちや先生に出会うことです。そこでいろいろな出会いを経験するのですが、昨年こんなシーンがありました。

授業開始時刻より少し早めに教室へ移動し、その学級の子どもの様子を見せてもらおうとすると、何人かの子どもたちが私の近くに来て、こんなやり取りがありました。

「あなたはだれ？」「どこから来た人？」「なんできたの？」……。

「こんにちは。今日はみんなの授業を…」と切り出すと、一人の子どもが首から下げた名札をじーっと見て、「羽生選手だ」と話し、騒ぎ出しました。子どもたちの知っている「羽生」と言えば、フィギュアスケートの「羽生結弦」選手なのでしょうか。

「そうだよ。羽生結弦選手と同じ、羽生ですよ」

「へえ、羽生選手のお父さん？親戚の人？」

そんなやり取りの中で、今日教室に来た人は、「羽生」という人だと覚えてくれました。そんな出会いができた瞬間、子どもたちの緊張が和らいでいく雰囲気を感じます。子どもたちが普段の姿で授業に臨むことができるとうれしいです。

子どもたちが自然とにこやかな表情になるためにも名札を見せて、教室に入っていきます。

(文責：羽生 篤史)

# 社会人権教育

## 東信地区人権教育研修会のご案内

人権教育への研さんを深めたい皆さんの積極的なご参加を、お待ちしております。

開催日 令和元年6月27日(木) 10:15~15:20

全体講演 10:15~12:00

基礎講座 13:00~15:20

会場 佐久市佐久平交流センター



### 全体講演 10:15~12:00

演題 **共に生きる**

講師 上田染谷丘高校非常勤講師

上田市教育委員会外国籍児童日本語支援員

**ウマル・ムニレさん**

### 基礎講座 13:00~15:20

第1講座 **同和問題**

第2講座 **高齢者の人権**

第3講座 **企業における人権**

第4講座 **外国人の人権**

第5講座 **性的少数者の人権**

第6講座 **参加体験型人権学習**

詳しくは、各学校にメール配信される要項やパンフレットをご覧ください。

お問い合わせ等はこちらへ。

東信教育事務所 生涯学習課  
(担当：園部勇一郎)

Tel 0267-31-0252

## 社会教育

### 佐久地区社会教育委員連絡協議会 総会・研修会より

5月10日、川上村文化センターで総会・研修会が開催され58名の参加がありました。

研修会では川上村教育振興課社会文化係長 長崎治さんに「川上村の文化・歴史」について講演を、地域コーディネーター 井出和夫さんに「川上村のコミュニティスクール」について実践発表をしていただきました。

長い年月に渡る努力と研鑽から全国有数の高原野菜の産地となった川上村の取組についての講演や村内3小中学校の子どもたちが地域の方々と共に学び活動しているコミュニティスクールの様子から、本気で取り組む地域の方々に会うことで子どもたちは地域への愛着が増していくことを実感することができました。



## スポーツ振興

### タグラグビー 講習会より



5月18日、上田市立南小学校で「タグラグビー講習会」を行いました。<参加者の感想より>

「どの学年でもタグ遊びからはじまり、発達段階に応じたゲームまで発展できそうだと感じました。また、体力・運動能力を向上させる要素が沢山含まれていることを体感しました。授業でもやってみたいと思いました。」

みなさんもぜひ授業でタグラグビーを導入し、楽しみながら子どもの体力・運動能力を高めてみませんか!

導入の仕方から道具の借用まで、不明な点は東信教育事務所生涯学習課までお問い合わせください。

